

令和3年度
9月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(市民福祉部)

拡充 障がい者グループホームの整備	3
--------------------------------	---

(農林部)

新規 広葉樹材乾燥新技術の実装支援	4
--------------------------------	---

(教育委員会事務局)

拡充 飛騨の糸引き工女の常設展示の開設	5
----------------------------------	---

拡充 子ども達がスキーに親しめる環境の整備	6
------------------------------------	---

拡充 障がい者グループホームの整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
36,000	福祉事業基金 36,000	工事請負費 36,000

(現計予算 3,896)

2 事業背景・目的

障がいを持つ子どもの親や家族にとって「自分が亡くなった後に一人残していく子どもが、生まれ育った地で安心して暮らせる場所が欲しい。」ということは切実な願いであり、唯一その願いに応えるのが障がい者グループホームです。このため、市では旧養護老人ホーム和光園のリノベーションにより施設を整備する方針を掲げ、令和3年度当初予算において感染症患者発生時に対応できるよう設計の修正を行いました。

今回、修正設計が完了したことから、施設内部の撤去工事を冬期間に実施し、令和4年度より本格的な整備に着手します。

3 事業概要

施設内の設備機器や内装の撤去について、令和3年度内に工事を行います。

《今後のスケジュール予定》

- 令和4年4月～ 建設工事着工 (福祉事業基金・起債を活用予定)
- 令和5年3月 竣工
- 令和5年7月 供用開始



(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 7 社会福祉施設費	
所 属	市民福祉部障がい福祉課	Tel0577-73-74830	予算書 P. 21

新規 広葉樹材乾燥新技術の実装支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,435	一般財源 (うち森林環境譲与税)	3,435 (3,435)	補助金	3,435
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

通常、広葉樹の伐採から家具などに使用できる板材にするまでに必要な期間は約1年と言われ、その多くは木材乾燥の時間に充てられます。しかし、昨年度市が実施した研究により、その期間を約3か月にまで短縮できる乾燥方法が技術的に実証されたことから、現在、広葉樹の流通や在庫の概念を変える技術・仕組みとして全国的に注目を集めています。そのため、今回「飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム」が主体となり、この技術を全国どこの地域、企業等でも成し得ていない全国初の仕組みとして実装し、広葉樹の新たな価値と市場を切り開く先駆者となるため、国交付金の採択を受け新たな試験研究事業を実施することとなりました。

しかし、研究に要するハード経費は国交付金の対象とならず、コンソーシアムの大きな負担となることから、当該経費に対し市が支援することで事業のより一層の推進を図ります。

3 事業概要

① 新技術の開発に必要なハード経費に対する支援 (3,300千円)

広葉樹の新たな乾燥技術を実装するためにコンソーシアムが実施する研究に必要な初期投資のうち、国交付金の対象とならないハード経費（電気設備工事、水道配管工事、基礎工事、熱源施設設置など）に対して支援を行います。（補助率：定額）

② 事業資金の一時借入に対する利子補給 (135千円)

国交付金が交付されるまでの間、当該事業を実施するために一時的に行う金融機関からの借入れに対して利子補給を行います。（補助率：定額）

(款)	6 農林水産業費	(項)	2 林業費	(目)	2 林業振興費
所 属	農林部林業振興課 TEL0577-62-8905		予算書	P. 26	

拡充 飛驒の糸引き工女の常設展示の開設

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,000	ふるさと創生基金 1,000	施設借上料 480 報酬 312 その他 208
(現計予算 925)		

2 事業背景・目的

市内には明治期の日本の産業近代化の礎として信州の製糸産業に貢献した「飛驒の糸引き工女」の足跡が今も多く残されています。

市では、家族のために一生懸命働いた工女たちの真実に迫るための史実研究に取り組み、映画「あゝ野麦峠」で知られる女工哀史の側面ばかりではなく、徐々に労働環境の改善が図られ大切な労働者として手厚い待遇を受けていたことや、彼女たちが得た貴重な現金が飛驒に暮らす家族の生活を支え大いに感謝されていたことなど、時代を生きる工女たちの姿を明らかにした調査報告書を刊行するとともに、ドキュメンタリー映画の上映会などの史実紹介に取り組んでいます。

今回、こうした研究成果をご覧いただける常設展示を古川町のまちなかに設置し、多くの方に史実を知っていただける環境を整備します。また、今後は同場所を市美術館での企画展示等を継続して展示できる「ポケットミュージアム」としても活用します。

3 事業概要

飛驒の糸引き工女の真の物語をより多くの方に知っていただけるよう、過去に開催した企画展をベースにして、人通りも多いまちなかに展示を実施します。

場 所：飛驒古川さくら物産館 蔵ホール（古川町三之町）

開 館 日：木曜日以外

開館時間：9時～16時30分（12月～3月は16時まで）

開 設 日：11月3日（水祝） ※予定

(款)	10 教育費	(項)	4 社会教育費	(目)	3 文化振興費
所 属	教育委員会事務局文化振興課 TEL0577-73-7496			予算書	P. 30

拡充 子ども達がスキーに親しめる環境の整備

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
9,700	ふるさと創生基金 9,700	補助金 8,400 委託料 1,300
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

市では、市内の子どもたちが雪国ならではのスポーツであるスキーにより親しめるよう、従来行ってきたリフト券の購入補助に代えて、令和2年度に新型コロナ需要喚起対策「Go to Skiキャンペーン」として、市内小中学生のリフト券無料化の実証実験を実施しました。実施後のアンケート結果では、約62%の児童生徒がスキー場を利用され、保護者等からも高評価を頂きました。

これを踏まえ、令和3年度はリフト券無料化の対象を拡大して実施するとともに、保護者等のニーズに応えた支援メニューを追加し、スキーを飛騨市の郷土スポーツとして位置付け、家族や友人と楽しみながら、市民の誰もがスキーを滑れることをふるさとの自慢と感じてもらえるよう取り組みます。

3 事業概要

① 【拡充】小中高生のスキー場リフト券の無料化 (8,000千円)

令和2年度に実施した小中学生のリフト券無料化について、対象を市内在住の高校生及び市内高校に通学している高校生にも拡大します。

② 【新規】幼児から中学生までのスキーレッスンの支援 (400千円)

スキー初心者の幼児から中学生までを対象に、市内スキー場でのレッスン受講料を支援します。

補助額：半日レッスン料金の1/2 (1シーズン2回まで)

③ 【新規】小学校スキー教室へのインストラクター派遣 (1,300千円)

各小学校が実施するスキー教室における保護者の負担軽減を図るため、岐阜県スキー連盟への委託によりインストラクターを派遣します。

(款) 10 教育費	(項) 5 保健体育費	(目) 2 保健体育振興費	
所 属	教育委員会事務局スポーツ振興課 Tel.0577-62-8030	予算書	P. 32